

FLORE21 ホットニュース

毎週のように台風の心配をしなけいけい季節になりました。

台風7号は多くの人のお盆休みに影響が出そうですし、6号含め多くの農産物への被害、今後の悪影響も懸念されます。

2週間前に出張で訪問した中国・雲南省の昆明は、年間平均気温15度。夏でも20℃前後。そして台風はない。という日本の農家さんから見たら楽園のような農業に適した土地です。暑さでばて気味の体はすでに昆明を恋しがっていますが、日本の農家さんの技術力と努力にも改めて感謝しています。

今週のホットニュースは、

○大田店 夏のダリアも忘れないで♡ 長野県青木村のダエイア

○世田谷店 群馬県の花の楽園「アイリスの丘」

○葛西店 そろそろブーム到来?! 「アクアセル」の秘密

○会長小池のコラム(過去記事) 信じています 「花は人を幸せにできる」

以上の3+1レポートです。それでは、どうぞご覧ください

OFLOの部屋

大田店ほりえです!

わたしは暖地から出てくる「でっかいバーンっ!」みたいなダリアも好きなのですが夏の「ちょっとかわいらしいダリア」が大好きです♡

2年ぶりに、夏のダリアと言ったら 長野県青木村 に行ってきました!

青木村で見つけたとってもかわいいおすすめダリアをご紹介します!



アンティークハミルトン

キタムラさんのオリジナル品種!

キタムラさんの品種の中でも特に人気がある品種ではないでしょうか?

まだまだ暑い日が続いてきますが秋にはひっぱりだこになること間違いなし!

でも気がかりな一言も・・・

「秋にあるかな・・・」 Σ(「□」∩)



花夢 (かむ/通常の色)



色変わりの花夢 (たまにこんな色も出ます)



なっちゃん

わたしのオレンジのイチオシはこのなっちゃん！

秋以降に暖地のダリアが出始めるとあまり見かけなくなる品種です。
夏のダリアですね～。

大きくはありませんが、色がしっかりでていてきれい！

近くでよく見るとちょっと花卉がマーブルっぽいのもかわいいですね。



ボルドーショコラ



海王星

どちらも彩花キタムラさんのしびかっこいいダリアです。



そして夏のおすすめラッテ3姉妹！

ラッテ

おそらく長女的な存在。

なんとも言えないくすみライトピンク



ラッテピンク

おそらく次女的なラッテピンク
ピンクのおすすめは？ と聞かれたら
わたしは迷わずラッテピンクをお勧めします
普通ピンク、いわゆるベタピンクですね



ラッティエロー

わたしの今年のイチオシ！
おそらく現在の末っ子です！
かわいいほんのり優しい黄色

今年から出荷が始まったんですかね？
とってもかわいいです♡
こんなじめじめとした毎日ですが、こしさわやかな気分になること、間違いなし☆

花工房やまぐちさんが出荷しています！
かわいい～～♡



カフェオレ

普通よりちょっとミニサイズのカフェオレです！

バーンっ！というびっくりするような大きい感じではなく、使いやすいようなサイズですよ。



丈も短めなちょっと短足ちゃんなところも愛嬌があってかわいかったです♡

こちらのミニサイズぎみは花工房やまぐちさんより



最後は彩花キタムラさんのジニア クイーンライムオレンジ の畑☆

「工房やまぐちさん」「花キタムラさん」

本当に暑いなか、ありがとうございました！また行きたいです♡

夏のダリアはもたないから、なんて言っていたらもったいないです！

夏には夏のダリア！ おすすめです☆

大田店 堀江麻理



2年前のアビーさん

本日のおまけ



この前のアビーさん

花工房やまぐちさんちの元保護犬 アビーさん

ちょっと茶色が強くなっていました。とっても元気でした☆

世田谷店おすすめ

群馬のシンボル上毛三山の一つである榛名山の麓、国道18号と北陸新幹線の間には点々と細かい丘があり、その中に「アイリスの丘」という四季折々の草花500種が咲く花の楽園があります。



* 入口は手作り感満載でちょっとコワイです。

「アイリスの丘」は約3ヘクタールの敷地に、5月にはジャーマンアイリス1000種10万株、6月にはヘメロカリス2000種20万株、9月にはダリア800種5千株が咲き誇るそうです。今回は7月だったのでジャーマンアイリスは残念ながら掘り返してしまっておりましたがヘメロカリスを中心にこれから市場にて出荷の全盛期を迎えるであろう初夏の草花を沢山堪能出来ました。



入り口を入れて掘っ立て小屋と怪しいおじさん（写真を撮る勇気は無）を通り過ぎると園の始まりです。



まずはスモークツリーです。高さは優に3メートル以上はありました。

その先は草花達の庭園です。





そして市場ではあまり見ない八重咲の桔梗です。



庭園を抜けるとこれから満開に咲き誇るであろうダリア畑です。



順路の分岐点にも飽きる事のない様に様々な花が植えられております。





最後はクレマチスシードのアーチを抜けるとゴールでした。

東京より約2時間、避暑地軽井沢の手前なので皆様も9月のダリアを見に行かれては如何ですか？

世田谷店 大津

仕入れの素☆ 葛西店



さて、この見事なフラワーシャンデリアが見られる場所は・・・そうです、

よみうりランドに隣接する“HANA・BIYORI”に再訪してきました。

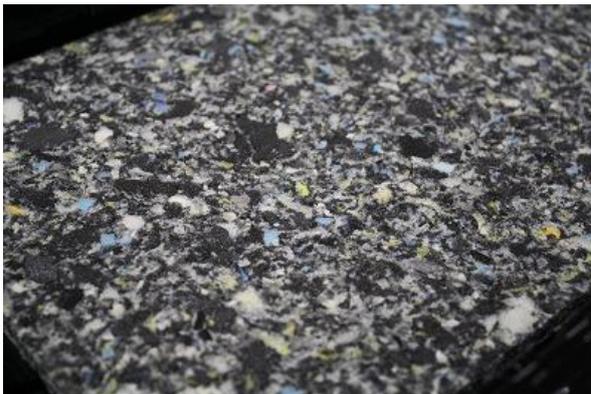
今回は7月5日に同所で行われた【アクアセル勉強会】in HANA・BIYORI に参加して来ました。

昼間の明るい時間帯に行われていた、アクアセルを使用しているガーデンの説明には間に合わなかったため、17:00からの勉強会のみお邪魔しました。

花屋さん・業界関係者・生産者など合わせて約200名を上回る人がこの勉強会に来ていました。

皆さん、この“アクアセル”はご存知でしょうか？

「アクアセル」は、100%再生材を使用した給水力と保水力に優れたスポンジです。素材はウレタンです。ウレタンの機能別集合体がアクアセルです。一般的なウレタンに比べ約6倍の水を吸収する他、新鮮な酸素もふんだんに含んでいます。植物が必要な時に必要な分だけ水分を補給することを可能にただけでなく、新鮮な酸素も同時に呼吸することも可能にしました。



このウレタンが、鉢物の水やりをサポートしてくれるのです。

勉強会では、アクアセルという商品と出会ったきっかけやHANABIYORIでアクアセルを使い始めた理由、経過を聞かせてもらいました。



「365日 いつもお花見びよりにしていなければならない場所」には必要不可欠な資材として見事にはまった印象をうけました。

アクアセルを使うメリットやデメリット、使用方法とその効果についても説明の中に出てきていました。その辺りは、私の浅い知識からではなく、アクアセルの発売元の株式会社ハクサンのホームページに詳しく解りやすく出ています。

<https://hakusan1.co.jp/product/aquacell/>

こちらを是非一度覗いてみてください。興味深い内容が特集として出ています。



これ程植物にとって良い影響が出るものならば、花以外の植物にも使えるのでは？野菜や果物や食糧を生産する分野にも応用が利くのではないか？
などと、天井の花を眺めながら想像していました。

このアクアセルを切り花の生産現場でも試して貰いたいと思い、知り合いの生産者さん(銀葉グミの生産者の武笠農園さん)のところへ持っていきこうと思っています。

武笠さんの銀葉グミは鉢に植えて生産しているので、試作の話に乗ってくれるかもしれません。

使ってくれるかどうかは未定ですが、なにかひとつでも新しい発見や何かの成功例に繋がればいいなと思いながら・・・



葛西市場内の資材屋さんにもアクアセルが並ぶようになりました。

資材屋さんの社長に話を聞くと、まだまだ花屋さんには知れ渡っていない様子だと仰ってました。知れ渡るにはまだまだ時間がかかるだろうとも。

花さんが使い易いような商品も色々と並んでいます。





一度アクアセルマジックを体感すると、病みつきになるかもしれませんね！
わたしも、家の観葉植物で試そうと思っています。

フローレ21も「アクアセル」の正規販売代理店になっていますので、気になった方は柏木までお問い合わせください。

葛西店 柏木

会長 小池潔のあれこれコラム (過去記事)

「身の丈を知る」「身の丈を高く」(2020年07月31日号より)

仲卸し業界にも全国組織があり、それほどの歴史を持っているわけではないが生まれたのは1986年(昭和62年)、私が幡ヶ谷で仲卸しを初めた次の年に発足した。世田谷市場が開設した1992年に仲卸組合の仲間に加わった。

この組合の活動で出会ったのが仲卸しの自由が丘フラワーズの横山久二社長であった。残念無念であったが先日、29日30日で通夜告別式が終わりました。お付き合いの期間はたった10年だったが、今の言葉で言えば濃厚接触者に当たるぐらい親密なお付き合いだった。

2009年、組合を法人化する事業を起こした時は、消費が少しずつ落ち込み始めたときでもあった。仲卸しの役割と花の需要喚起を業界全体に訴えするレセプションを計画した。

彼をこの事業の中心に据え活動を始めた。まず花業界全体に仲卸しの存在を知ってもらうこと。それにはこのレセプションに大勢の方が出席いただくとともに、感動を呼ぶ中身が必要だった。

彼は、当時もっとも注目されている六本木ヒルズの最上階で、300人規模でのレセプションを行うことを提案しました。この案が採用され何度も何度もレセプションの内容を打ち合わせしたことを思い出します。

会は、300人を超える招待者を前に、壇上に数名が上がり用意された問題点をディスカッションしていく。これを繰り返し、各問題点を深めていった。思いどおりにはいかないこともあったが、この取り回し司会を横山久二が行った。

自分事ではありますが、何度も人さまのこの類のレセプションに出席していますが、とても良くできた会だと思った。

